

経営比較分析表（平成30年度決算）

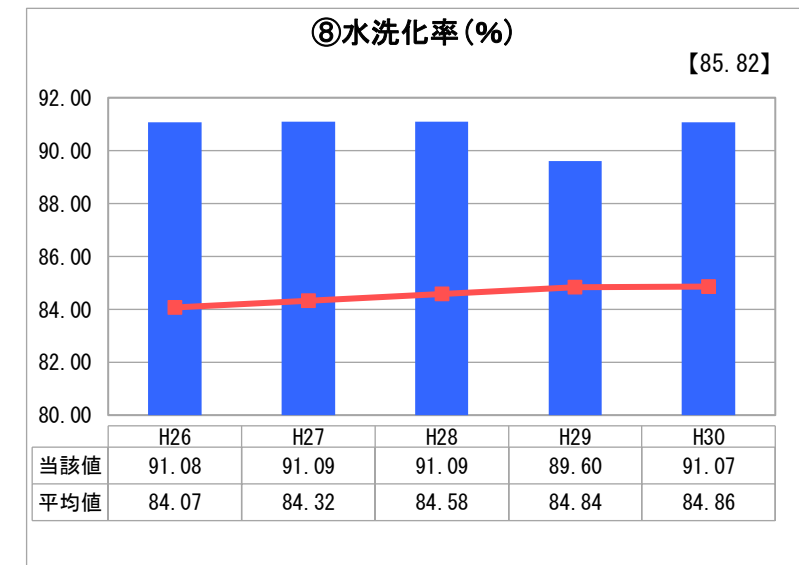
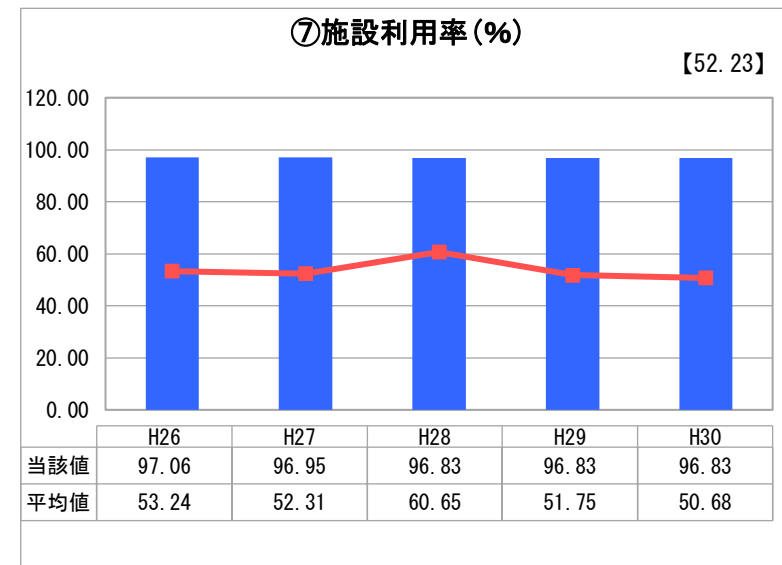
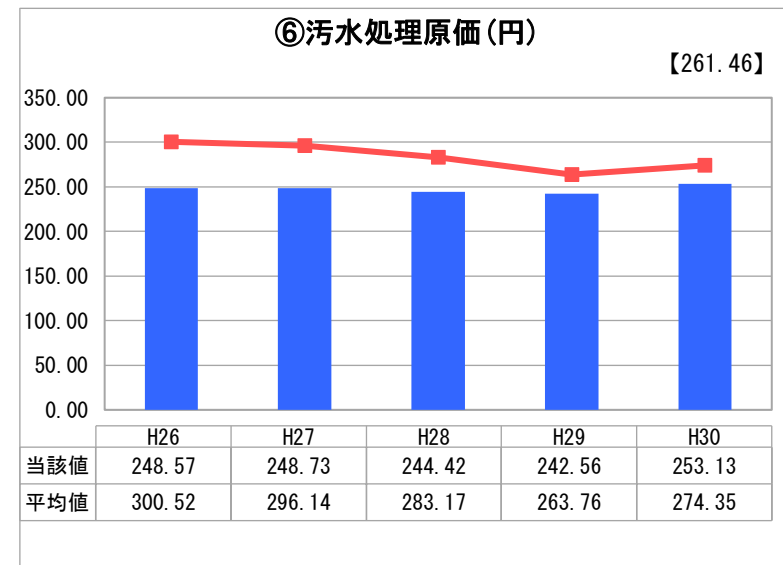
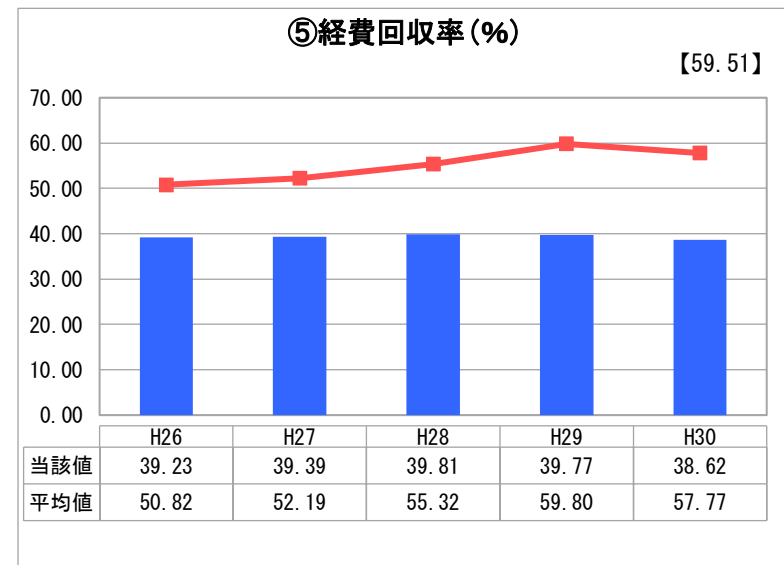
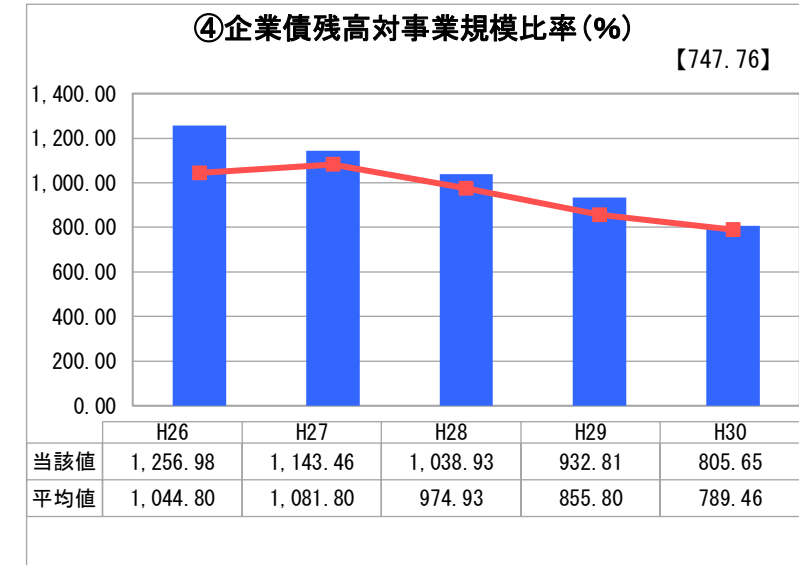
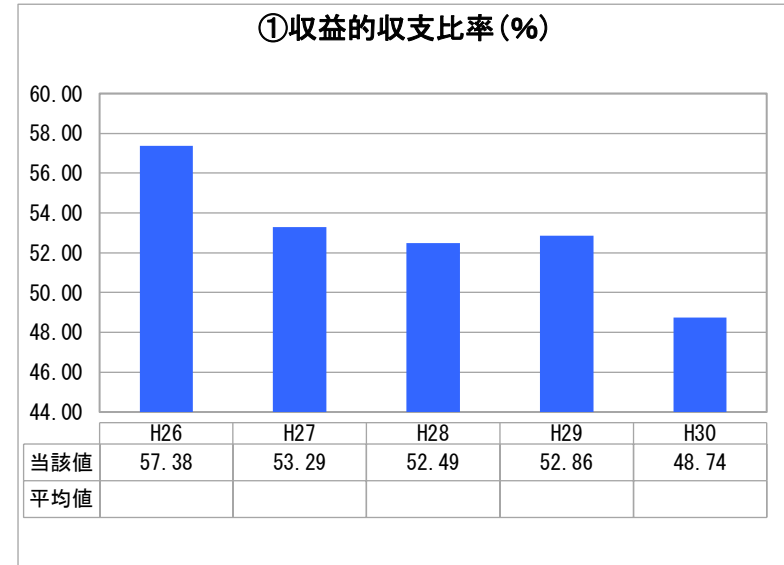
福井県 若狭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	53.99	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,988	178.49	83.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,994	3.36	2,379.17

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を大きく割り込んでいます。地方債元利償還金を一般会計繰入金に依存していることが要因である。施設の整備はほぼ終了しており、水洗化率も類似団体平均値より高く約91%に達している中で、比率を上げるには、維持管理経費の削減と料金改定が必要である。

④企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値より高い状況にあるが、農業集落排水処理事業の整備は完了しており、元利償還額のピークは過ぎている。しかしながら、今後最適整備構想において施設の更新や統廃合を予定しているため、企業債が増加する可能性が高い。

⑤経費回収率は、類似団体平均値と比べ下回っている。R3年を目標に料金改定を予定しているため、今後改善が期待できる。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均値を比べ下回っているが、横ばいの状態が続いているため、今後さらなる経費の削減に努める。

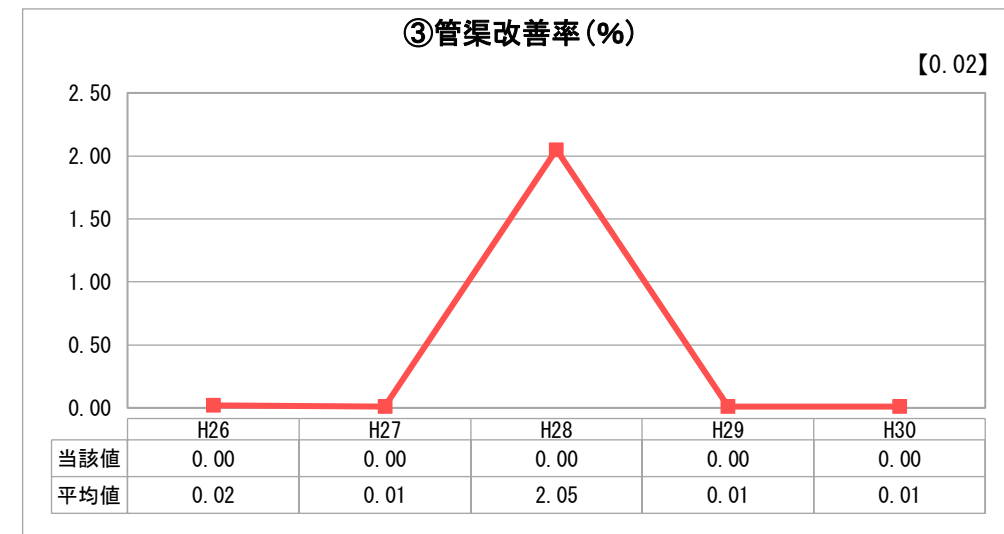
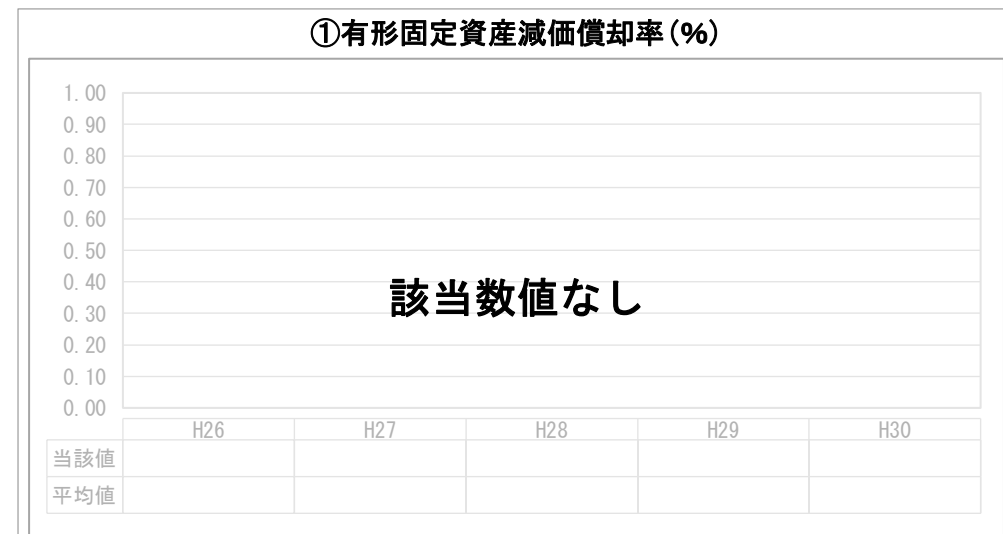
⑦施設利用率は、類似団体と比較し高い数値となっているが、今後人口の減少に伴い低下していくことが予想されるため、施設の統廃合を検討していく。

⑧水洗化率は、類似団体と比較し高い数値となっており、残りの余地は少ないが、さらなる向上を図りたい。

2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水は9地区に分かれており、施設の供用開始年度が平成5年度から平成11年度となっている。もっとも年数が経過した管渠で29年が経過している。耐用年数を経過した管渠はないため更新は行っていない。今後は、最適整備構想に基づき、管渠及び処理場の更新を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町は現在、農業集落排水の整備は完了しており、水洗化率も高く、使用料収入は、住居人口の減少と共に今後少なくなっていくことが想定される。反対に、施設の維持管理費は老朽化と共に年々増大していくことが想定され、事業を取り巻く環境は厳しさを増していく。今後は施設の統廃合により維持管理費の大幅な削減、施設の更新等の将来を見据えた経営戦略の策定が必要となっていく。

上記のことを踏まえ、令和3年度を目標に料金改定を実施し、施設の統廃合については経営戦略をもとに進めていく。また、令和5年度までに農業集落排水事業会計を公営企業化し、事業経営の健全化を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。